

授業科目名・形態	助産診断・技術学Ⅰ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
担当者氏名	三崎 直子・早狩 瑤子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

### 【授業の主題】

助産診断・技術学の定義、意義を理解し、科学的根拠を基にした助産診断をすることができる。

### 【到達目標】

1. 助産診断および助産技術の定義と意義、範囲について理解する。
2. 科学的根拠をもとに、正常な助産診断について理解する。

### 【授業計画・内容】

- 第1・2回 助産診断の定義と意義、妊娠期の助産診断（三崎）  
 第3・4回 妊娠期の助産診断（三崎）  
 第5・6回 分娩期の助産診断（早狩）  
 第7・8回 産褥期・新生児期の助産診断（早狩）

### 【授業実施方法】

基本的に講義です。  
 授業の中で、課題を挙げ発表してもらいます。

### 【授業準備】

助産に関連する科目を復習する。

### 【主な関連する科目】

「基礎助産学」「助産診断・技術学Ⅱ」

### 【教科書等】

助産学講座 2, 3, 6, 7, 8 医学書院

### 【参考文献】

授業で紹介します。

### 【成績評価方法】

参加度 10%、課題発表 10%、筆記試験 80%

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

助産師の実務経験あり。  
 助産師としての実務経験をふまえ、臨床事例を提示する等により、理解が深まるように工夫している。

### 【学生へのメッセージ】

適宜意見交換をしますので、積極的に参加をしてください。